

2024/02/11(日)

御前山^{ごぜんやま}～九鬼山^{くきやま} (山梨百名山)

メンバー:L 辻・福田(記録)・有賀・会員外 1

7時9分、田野倉発の東京行き電車に乗れた時はホッ!とした。集合時間を間違えた人がいて、出発が遅れたことから始まり、みんな電車に乗り慣れていないのだ。無人駅で切符の買い方もわからない。猿橋駅から出発。リーダーが登山口までの地図を用意してくれてあり、ありがたい。

数日前の雪が残っていて踏み跡あり。北斜面の途中でアイゼンをつけ、神楽山までの尾根道は、ちょうどいい雪の固さだ。稜線に出てからは、雪があったり無かったりで、アイゼンをはずして歩く。風もなく気持ちよく御前山で小休止。ここからの富士山の眺めは今日一番のハイライト。雪がたっぷりつき、鋭角が外国の山に似たカッコいい富士山だ。

アイゼンをつけ、^{またて}馬立山へ。ここで九鬼山の位置を確認して出発するが、トップの私が標識を見そこない警告音。地図を見直し馬立山へ戻る。かなり下ったので登り返しロス 30分。

^{きつがね}札金峠まで急な下りだ。この標識も見つらくのぞき込む場所にある。ここで今日の行程半分かー。峠をしばらく登り、標高差 200M の登りに入る前に、陽だまりで昼食。

九鬼山への登りは雪もたっぷりついている。グループ、女性単独と楽しんでいる様子がわかる。雪で蔓の絡んだ低木のかたまりが垂れ下がり、ジャングルのようなところのトラバースも抜け、最後は鎖場もある急な直登だ。

頂上で、富士山は見えなくなるが、地元だという方に見える山を教えてもらう。三ツ峠山、滝子山、黒岳、雁ヶ腹摺山の稜線、奥に雲取山も。反対は御正体山、杓子山、石割山。

下山は急な下りを一気に。ジグザクに道はあるが、横に一直線の急登もあいている。九鬼山の真下はリニアのトンネルが通っている。九鬼山だけでは歩き足らず、周遊コースを選んでくれたリーダーに感謝。地図読み、ポイントのおさえ方の大切さも改めて感じる!

出発からドキドキはらはらの山だったが、下山予定ぴったりに車まで戻る。(福田記 監修 辻)

【桃太郎伝説】

百蔵山で生まれた桃太郎が上野原市の「犬目」で犬、大月市の「猿橋」で猿、「鳥沢」でキジを家来にして九鬼山に棲む 9 匹の鬼を退治に来た。

【コースタイム】 晴→曇り

池の山登山口～徒歩 10分

7:09 田野倉駅⇒電車 7:26 猿橋駅

07:35 猿橋駅

07:50 御前山登山口

09:05 御前山 20分休

10:15 馬立山 20分休

11:25 札金峠

13:05 九鬼山 20分休

13:55 天狗岩

14:10 池の山

14:30 池の山登山口

御前山からの富士山



九鬼山山頂 富士山雲の中



三つ峠山～滝子山～黒岳、雁ヶ腹摺山(九鬼山より)



九鬼山への急登開始



北斜面雪多し

